

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	2173200128
法人名	株式会社 新生メディカル 瑞穂営業所
事業所名	グループホーム しんせい
所在地 (電話番号)	岐阜県瑞穂市別府1193 (電 話) 058-329-5118

評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1
訪問調査日	平成19年8月11日

【情報提供票より】(19年8月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	11人	常勤	3人, 非常勤 8人, 常勤換算 4.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート		
	3 階建ての	2 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	約 45,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷 金	(有) (入居契約金 200,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,100 円(おやつ代を除く)		

(4) 利用者の概要(8月3日現在)

利用者人数	6 名	男性	0 名	女性	6 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.8 歳	最低	78 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	広瀬内科クリニック 松野歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームしんせいは商店街の中心に位置し、郵便局やスーパー・喫茶店など近くにあり買い物など外出にとっても便利な場所にある。訪問介護、通所介護、居宅介護事業所が併設された3階建ての2階がグループホームとなっている。1階はデイサービスセンターとなっており利用者は午前・午後とデイサービス利用者と共にアクティビティ・趣味活動、3時のおやつなどを一緒に過ごしている。利用者の表情も生き生きし、職員とも顔なじみとなり和やかな雰囲気を感じられる。また職員の努力により観劇や絵画の鑑賞なども実現し、地域密着型サービスの取り組みを着実に進めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善点は6点あったが、毎月ミーティングが行われ、運営に対する意見やケアプランに対する検討、運営理念の浸透が行われている。ホーム便りの発行、入居者の経験を活かしたケア、市町村との関わりなど積極的な改善の取り組みがなされている。早期退院に向けた医療の連携、活動意欲を触発する項目については検討を継続している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は全職員の意見を聞いてありのままに行った。その後サービスの視点に沿って、利用者の特徴を考えつつ、話し合いの上積極的に取り組んだ。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では利用者の状況やグループホームの情報提供を行い、サービスの向上に努めている。会議の内容は記録に残し、職員会議等でも検討され活かされている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情受付窓口は管理者で、意見箱も設置されている。家族会は年1回のため、なお一層家族の意向が運営に反映されるようホーム便り発送時、返信用の紙など同封し家族の意見を聞く工夫が期待される。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者の日常生活における方針として一人一人が役割を持ち地域との交流を図りつつ利用者の希望や能力に合わせて支援されている。中学校の体験学習の受け入れや、保育園の誕生会にも参加している。さらに自治会に加入し、地域の作品展に出品するなど地域に溶け込む取り組みをしている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は「一人ひとりが持てる力を活かし、役割を持ちながら家庭的環境で地域との交流を図り生活できるよう支援します」を掲げ、事業所独自のケア理念を述べている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員が理念に振り返り実践に繋げられるよう、日常のサービスの中で具体的に指導している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は自治会に加入し、地域活動に参加する努力をしている。地域の作品展に習字やパッチワーク等の作品を出品するなど地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員で話し合っって自己評価は具体的な改善目標を掲げ、具体的な改善に取り組んでいる。この取り組みの過程が評価の意義の理解を深めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、利用者の状況やサービスの情報提供を行い、サービスの向上に活かしている。老人会の参加の意義や活動の理解も深まった。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者や保健師と会議以外にも相談や話し合いができる。サービス向上のため、関係分野への相談や連携の取り組みを進めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回ホーム便りを郵送し、個々の家族への連絡を行い、同時に金銭管理や日々の暮らしぶりも報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談の窓口は管理者となっている。家族会もあり、家族の意見を運営に反映させる第三者委員の役割を担っている人もいる。	○	家族会は年1回のため、なお一層家族等の意向が運営に反映されるようホーム便りの発送時、返信用封筒など同封し、意見を聞くなどの工夫が期待される。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者や施設長は職員の離職は利用者にとってダメージが大きいことを認識し、できるだけ離職しないよう職員の相談にのるなど配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	キャリアアップのために管理者を含めた職員研修計画を作成し、これに基づいて事業所内外の研修を受ける機会があり、知識や技術を習得する体制ができています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列の事業所や地域の同業者と交流する機会を持ち、情報や意見の交換を積極的に行っている。交流を通じてサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設のデイサービスの利用者が入居されるケースがほとんどで、顔見知りの利用者と職員の関係となっていて戸惑いもほとんどなくサービス開始となっている。また、ダンスやベッド、写真や位牌など馴染みの品が多く見られた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者は人生の先輩であるという考えで接している。普段から利用者に教えてもらう場面も多く、暮らしの中で様々な思いを分かち合い、共に支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いは日々の暮らしのなかで折に触れ聞く努力をしている。介護計画の立案や見直し時は、利用者や家族、デイサービスの職員の意向など記録し、検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は利用者ができること、興味あることなど一人ひとりに合った計画を作成している。アイデア等も反映されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に6ヶ月ごとの計画の見直しをしている。月1回の担当者によるケースカンファレンスに置いて状態の変化が生じた場合は家族等を交えて検討され随時計画の見直しがされている。	○	介護計画の見直しは基本的に3ヶ月に1度されることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の希望により通院介助を支援している。その他出身地の写真展があったときは一緒に見に出かけたり、趣味のため買い物等の外出支援もしている。また月1回 理美容の有償ボランティアの訪問があり希望者はカットしてもらっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師による毎月の往診があり体調管理をおこなっている。本人・家族の希望する医療の通院介助もおこなっており、受診結果に関する報告を家族にもおこない、話し合い、情報の共有がされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族から終末期についての考えを聞いたり、今後重度化した場合についての方針をかかりつけ医・職員と話し合っている。マニュアルも作成してある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティングや勉強会において個人情報の取り扱いについて話し合いをしている。食事場面で入居者を傷つけないよう ゆったりした対応で他の入居者にも配慮されているのが見受けられた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食はその人その人のペースに合わせた時間で食べている。本人の体調や精神状態、希望により買い物や散歩が声かけによりおこなわれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を取り入れ献立を立てている。ときには自分たちが作った野菜をつかい、利用者と職員と一緒に準備、調理、配膳、片づけなどできることを手伝いながら職員と一緒に楽しみながら食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週4回の入浴を夕方4時から8時の時間帯でおこなわれている。入浴拒否がある方には「入浴券」を作り、入ってもらえるよう工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	デイサービスのアクティビティに参加し、歌ったり踊ったり、お茶をしたり、時には買い物、日舞の観賞などの支援をおこなっている。今後地域の祭りや老人会参加を計画している。	○	今後、地域の自治会長等の協力を得ながら祭りや老人会の参加が可能になるよう期待する。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調・精神状態を見ながらの外出支援は気候も配慮しおこなわれている。1階への移動によりデイサービスの利用者(地域の方)との交流が入居者にとって刺激となり生活意欲の向上につながっている。		
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常的に鍵はかけていない。帰宅願望の方には町内を散歩するか、1階にあるお地藏さんに詣るなどの支援がされている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力を得て防災訓練をおこなっている。民生委員、近隣ボランティアの協力もあり火災・地震の場合を想定して訓練をおこなっている。水・非常食品・備品等も準備している。	○	今後水害を想定しての避難訓練を予定しているとのことであり、期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの嗜好を把握し、栄養バランスを考慮した献立にて1日に必要な水分量・食事の摂取量を記録し情報を共有している。ときには利用者の食事が遅くなってもペースに合わせて支援している。	○	献立について栄養士のアドバイスなどを受けられることをすすめる。嚥下に対し 汁物の工夫もされることを期待する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物や入居者と職員による生け花が所々に飾ってある。メダカも飼っており涼しげであり 家庭的な雰囲気です。落ち着いた環境である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりが在宅で使用していたダンス・机・イスなど馴染みのものを活かし、その人らしい居場所となっている。なかにはお花が生けてあり、お位牌や家族の写真を飾っている人もいます。		